集積回路

電子管

# 市場環境と事業の展開

## DX化の流れによって続くニーズ拡大

自動車など様々な機器の電子化やAIなどの先進的な技術の急速な進展により、 電子部品のニーズは拡大し、実需も波はあるものの拡大傾向にあります。

電子部品・デバイスの市場規模 (暦年) <sub>約</sub>148.7<sub>兆円</sub><sup>※</sup> 2023実績 8,706億ドル 2024見込 ■ 10,775<sub>億ドル</sub> 2025予測 電子デバイス 約116.4兆円\* 電子の働きを応用して、 増幅など能動的な働きをする部品 半導体素子

> ※2024年の見込(ドルベース)に対して、2024年平均為替レート1ドル=150.8円を用いて算出しています。 注:数字はJEITA「電子情報産業の世界生産見通し2024」、区分はJEITA「電子部品グローバル出荷統計品目分類表」

# 

電子デバイスの働きを補完する部品。電子デバイスと組み合わせることで機能する

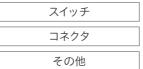
## 受動部品

供給された電子エネルギーの蓄積、制御、分割などを行う



#### 接続部品

電子回路やシステムの接続、切り替えなどを行う



#### 変換部品

音、トルク、磁束などを発生させる



### その他の電子部品

电源	
高周波部品	□太
高周波部品	<u> </u>

■太陽誘電の事業領域

